

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	フリースマイル鹿児島		
○保護者評価実施期間	令和7年1月17日		～ 令和7年2月8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35名	(回答者数) 16名
○従業者評価実施期間	令和7年2月6日		～ 令和7年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月21日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童や保護者の情報共有ができています	毎日の朝礼と終礼において児童との関りについての共有と振り返りを行っている。	話題にあがる児童に偏りがないように意識する。また、課題点だけでなく、できた部分や頑張ったことにも目を向け、ストレッチの共有にもつなげる。
2	活動プログラムが多種多様であること	様々な視点で活動を考えられるように、児童・生徒同士において意見や希望を出し合う機会を設け、児童の希望を組み込んだ活動も実施している。	「楽しい」の中にもどのような学びに繋げるのかという意識が弱くならないように取り組む。また、外部との関わりも組み込んでいけるように検討する。
3	児童・生徒が安心して過ごせる環境づくり	毎日事業所内と事業所外の清掃を行っている。また、遊具の消毒を行っている。なお、怪我につながるような物や箇所がないかのチェックも行っている。	常に客観的な視点や尺度で見たり考えたりできるように意識を高める。また、新たに法人内他事業所の職員に意見をもらう機会を設け、ブラッシュアップにつなげる。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者参加の機会がない	複数名の事業所へのご案内は、駐車場の確保が困難であることから控えている。	外部施設を利用する際にご案内できる機会を設けるように検討する。
2	関係機関との連携	緊急性が高いと感じる場合を除き、こちらからの発信があまりできていない。	関係機関と連携をとるための時間を事前に確保しておく。また、定期的に連絡を取り連携しやすい関係を構築する。
3	外部研修への参加ができていない	人員体制の関係で参加が困難な状況である。	研修スケジュールに合わせた勤務体制作りができるように可能な限り工夫する。